授業デザイン

教科名　〇〇　　授業者氏名　〇〇〇〇　令和２年　　月　日（　）

実施学級：
実施場所：
単元名　：　　〇／〇時

1　本時の指導目標	「(生徒が）～できるようになる」といった行動目標で書く。
2　本時の手立て	本時の指導目標を達成させるための教師の手立てを書く。
3「深い学び」に導くための問い	問い 本時の指導目標と関わる本質的な問い
	問いのレベル　いずれかにチェックを入れる。 **□Ｉレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） **□Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） **□Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）

４　学習の展開			
学習活動		指導上の留意点	評価方法
導入	●本時の目標を提示する。 生徒が主体となるように記述する。	教師が主体となるように記述する。	
展開			
まとめ	●学習のまとめと振り返りをする。		

※５月に提出した授業改善のための工夫シートに記載した授業改善ポイント（本年度重点的に取り組む内容）を踏まえた授業となること。

※評価方法の例

□小テスト　□定期考査　□レポート　□ルーブリック　□実技テスト

□シート提出　□アンケート